

平成15年度収蔵作品(購入12点/受贈42点)

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法
	【購入】				
1	ジュゼッペ・ペノーネ	川になる3	1992年	30×40×30	大理石(2個)
2	ジュゼッペ・ペノーネ	石を彫ることは川になることである	1981年	50×34.3	
3	ジュゼッペ・ペノーネ	海の石のように山の石を彫る	1981年	22.5×27.5	鉛筆、コーヒー・紙
4	若林奮	所有・雰囲気・振動一綿を含む三角形	1984年	120×43×43	銅、油絵具、パステル
5-1	若林奮	無題	1987年	23×19.3	鉛筆、インク、水彩・紙
5-2	若林奮	無題	1987年	23×19.3	鉛筆、水彩・紙
5-3	若林奮	無題	1987年	23×19.3	鉛筆、インク、水彩・紙
5-4	若林奮	無題	1987年	23×19.3	鉛筆、インク、水彩・紙
5-5	若林奮	無題	1987年	23×19.3	鉛筆、インク、水彩・紙
5-6	若林奮	無題	1987年	23×19.3	鉛筆、インク、水彩・紙
5-7	若林奮	無題	1987年	23×19.3	インク・紙
5-8	若林奮	無題	1987年	23×19.3	インク・紙
5-9	若林奮	無題	1987年	23×19.3	インク・紙
5-10	若林奮	無題	1987年	23×19.3	インク・紙
5-11	若林奮	無題	1987年	23×19.3	インク・紙
5-12	若林奮	無題	1987年	23×19.3	インク・紙
6	若林奮	鮭の振動尺1-A	1978年	41.5×165.3	ドライポイント、エングレーヴィング／銅板、真鍮板／紙、Ed.3/23
7	若林奮	鮭の振動尺1-B	1978年 (1997年刷り)	41.5×165	ドライポイント、エングレーヴィング／銅板／紙、Ed.5/15
8-1	若林奮	ノート・鮭の尾鳍 補遺 水のとどまるところⅠ	1978年	32×32	ドライポイント／銅板／紙、各Ed.16/20
8-2	若林奮	ノート・鮭の尾鳍 補遺 水のとどまるところⅡ	1978年	32×32	ドライポイント／銅板／紙
8-3	若林奮	ノート・鮭の尾鳍 補遺 水のとどまるところⅢ	1978年	32.3×32	ドライポイント／銅板／紙
8-4	若林奮	ノート・鮭の尾鳍 補遺 水のとどまるところⅣ	1978年	44×35	ドライポイント／銅板／紙
8-5	若林奮	ノート・鮭の尾鳍 補遺 水のとどまるところⅤ	1978年	32×32	ドライポイント／銅板／紙

9	岡崎乾二郎	町に住んでいる子どもは鬱蒼と静まる木の下に行くだけでも怖いようだけれども、友達もいない、田舎に育った私たちには怖いものがない。朝起きるとありっこないことを信じる練習をしています。えいやっと、牛の逆立ち、花や実を誘われているだけでも楽しかった。家の庭師は何も分かってはくれないけれど物事の多くは証明されにまま残っている。	2002年	180×130×5 (2点組左)	アクリル・カンヴァス
		土地のせいなのか、真夜中に突然しくしく夢うつつに泣き出したり、私たちとは違って、遠く吠える犬の声にも凍てついたりする。あなたわね、修行が足りないのよ、手伝うというのは役に立つ場所を見つけることよ。町に住みたいと空に想いを描くことならできさ。まだ庭の土も冷たいし夜も少しは冷える。目を醒ましてみると雨が降っていた。	2002年	180×130×5 (2点組右)	アクリル・カンヴァス
10	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#20	1987年		ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル絵具、顔料
11	岡崎乾二郎	あかさかみつけ#27	1987年	27.5×25×17.6	ポリプロピレン、ポリエチレン、アクリル絵具、顔料
12	若松光一郎	ガラスエたち	1954年	130×161	油彩・カンヴァス
	【受贈】				
1-1	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ54	2000年	36.5×21.5×2.4	平成8年度芸術専門学群履修便覧、シラバス、蜜蝋、金網、クリップ
1-2	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ55	2000年	30×21.4×20.4	平成9年度会議書類、銅線、蜜蝋、亜鉛筆、合板、ペイント(白)、紐
1-3	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ56	2000年	30.2×21.3×6.3	平成7年度会議録、蜜蝋、亜鉛筆、紐
1-4	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ57	2000年	39.3×28.7×23	平成9年度会議書類、銅線、蜜蝋、亜鉛筆、合板、ペイント(白)
1-5	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ58	2000年	55.6×37.5×10	平成10年度大学院便覧、蜜蝋、銅線、銅釘、石綿、金網、鉄、ビニールホース
1-6	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ59	2000年	21.8×9.6×35.5	平成11年度芸術専門学群履修便覧、シラバス、蜜蝋、ガラス、種子(ヒマワリ)、クリップ、アメゴム
1-7	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ60	2000年	29.8×5.6×25.8	平成11年度大学院便覧、蜜蝋、木、鉛筆、銅
1-8	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ61	2000年	33.7×30.6×14.5	平成10年度履修便覧、蜜蝋、木、ビニールホース、銅、硫化カドミウム
1-9	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ62	2000年	30.2×46.1×4.8	平成10年度開設科目一覧、蜜蝋、あかしの葉、銅釘、合板、ペイント(白)
1-10	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ63	2000年	38.7×29.3×11.5	筑波大学開学20周年記念卒業生名簿、蜜蝋、銅、合板、ペイント(白)、金網

1-11	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ64	2000年	43.2×30.2×9.6	平成10年度学生名簿、蜜蝋、金網、銅線、合板、ペイント(白)、紙
1-12	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ65	2000年	32.5×13.2×36.8	平成8年度総合科目ガイドブック、銅、アルミニウム、蜜蝋、クリップ
1-13	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ66	2002年	38.5×51.5×6.0	平成12年度学生名簿、銅、蜜蝋、ガラス
1-14	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ67	2002年	24.5×61.6×31.2	平成13年度学生名簿、蜜蝋、銅線、木、ペイント(グレー、白)、鉄
1-15	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ68	2002年	24×45×30.8	シュレッダーされた書類、ステンレス、ガラス、銅、蜜蝋
1-16	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ69	2002年	25×35×29	平成13年度履修要覧、平成13年度大学院修士課程便覧、平成13年度開設科目一覧、木、蜜蝋、亜鉛華、銅、ペイント(白)、鉛筆
1-17	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ70	2002年	48×24×8.3	平成12年度大学院便覧、平成12年度芸術専門学群履修便覧、平成12年度履修便覧、平成12年度開設授業科目、蜜蝋、亜鉛華、引き出し、ペイント(白)
1-18	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ71	2002年	25×24×30.5	平成11年度開設授業科目一覧、蜜蝋、鉛、亜鉛、亜鉛華、ペイント(白)、クリップ
1-19	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ72	2002年	26.2×13.7×9	教官手帳、種子(柿)、蜜蝋
1-20	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ73	2002年	30.5×21×11	平成11年度会議記録、蜜蝋、亜鉛華、荷造りテープ、紐
1-21	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ74	2002年	30.9×21.9×9.5	平成13年度会議記録、蜜蝋、亜鉛華、荷造りテープ、紐
1-22	河口龍夫	関係一教育・エドゥカティオ75	2002年	24.5×31.8×22	描画された紙、蜜蝋、ダンボール、ペイント(グレー)
2	若松光一郎	石膏デッサン	1933年	63.2×48.4	鉛筆・紙
3	若松光一郎	石膏デッサン	1933年頃	63.2×48.4	鉛筆・紙
4	若松光一郎	自画像	1942年	34.6×25.5	鉛筆、水彩・紙
5	若松光一郎	民子 生後53日	1942年	24×33	鉛筆、水彩・紙
6	若松光一郎	霊山・中後坂にて	1943年	31×38	コンテ、油彩、鉛筆・紙
7	若松光一郎	高台の家	1943年	37.6×49.3	コンテ、油彩、鉛筆・紙
8	若松光一郎	軍人	1944年	33×24	コンテ、水彩・紙
9	若松光一郎	アメリカ兵ノ鉄かぶと	1944年	38.5×27	コンテ、水彩・紙

10	若松光一郎	衛生兵	1944年頃	30.2×21.4	鉛筆・紙
11	若松光一郎	磐城炭砒内郷住吉ズリ山風景	1946年	22.7×31	インク、コンテ・紙
12	若松光一郎	磐城炭砒内郷住吉ズリ山風景	1946年	30.5×40.4	コンテ・紙
13	若松光一郎	風景(平)	1946年	39×53.4	水彩、コンテ、鉛筆、色鉛筆・紙
14	若松光一郎	湯本のアトリエ	1950年頃	38.7×27	コンテ、色鉛筆、パステル・紙
15	若松光一郎	ガラス工たち	1954年	25.2×37	コンテ、水彩、鉛筆・紙
16	若松光一郎	ガラス工たち	1954年頃	25.2×38	コンテ、水彩、鉛筆・紙
17	若松光一郎	ガラス工たち	1954年頃	25.2×35.8	コンテ、水彩・紙
18	若松光一郎	ガラス工たち	1954年頃	25.2×35.8	コンテ、水彩・紙
19	若松光一郎	ガラス工たち	1954年頃	25.2×35.8	コンテ、水彩・紙
20	若松光一郎	ガラス工たち	1954年頃	25.7×37	コンテ・紙
21	若松光一郎	アトリエ(湯本)	1955年	48.2×63.5	コンテ・紙
22	若松光一郎	アトリエ(湯本)	1955年頃	63.5×48.2	コンテ・紙
23	若松光一郎	古河好間炭砒ズリ山風景	1956年	25.8×36	コンテ、水彩、インク・紙
24	若松光一郎	石炭を運ぶ女	1956年	48.1×63.5	コンテ・紙
25	若松光一郎	五月のヤマ(小田炭砒)	1957年	32×40.7	水彩、鉛筆・紙
26	若松光一郎	五月のヤマ(小田炭砒)	1957年頃	32×40.7	水彩、鉛筆・紙
27	若松光一郎	五月のヤマ(小田炭砒)	1957年頃	32×40.7	水彩、鉛筆・紙
28	若松光一郎	煙突掃除夫	1958年	40.8×31.7	コンテ、水彩、インク・紙
29	若松光一郎	煙突掃除夫	1958年頃	63.6×47.8	コンテ・紙
30	若松光一郎	巻き網	1959年頃	35.7×25.2	鉛筆、コンテ、水彩・紙
31	若松光一郎	独航船	1960年頃	19.3×27.2	ボールペン・紙
32	若松光一郎	独航船	1960年頃	19.3×27.2	ボールペン、色鉛筆・紙
33	若松光一郎	湯本入山選炭所風景	不詳	46.5×60.7	コンテ、鉛筆、油彩・紙
34	若松光一郎	小田炭砒	不詳	41.7×60.5	水彩、コンテ、鉛筆・紙
35	若松光一郎	農家	不詳	37.8×52.5	油彩、コンテ、鉛筆・紙
36	若松光一郎	平機関庫	不詳	40.4×59	水彩、コンテ・紙
37	若松光一郎	ピアノを弾く人	不詳	59.5×48	コンテ・紙

38	若松光一郎	台所	不詳	62.7×48.5	コンテ・紙
39	若松光一郎	不明	不詳	28.5×47.3	木版・紙
40	若松光一郎	不明	不詳	47.5×28.5	木版・紙
41	若松光一郎	スケッチブック	1956年	42.2×32.6	鉛筆、水彩、コンテ・紙(表紙にmitu56.1と記す) 内容は炭碓(3p)、坑夫(4p)、女性(1p)、風景(1p)が、描かれている
42	若松光一郎	スケッチブック	1956年	42.2×32.6	鉛筆、水彩、コンテ・紙(表紙にmitu56.6と記す) 内容は炭碓(4p)、坑夫(1p)、女性(2p)、石炭を運ぶ女(1p)、裸婦(7p)が描かれている

◇ペノーネは、イタリアを代表する現代作家として世界的に著名であり、その代表的な作品「川になる3」は、自然本来の姿、力を作品制作に用いるペノーネのコンセプトを明瞭に伝え、またその簡潔な造形性を通して彫刻のあり方について深く言及している。

◇若林奮は、戦後日本において最も重要な彫刻家に位置付けされており、今回収蔵した作品は、最も充実した時期に制作された重要な作品として知られている。また素描と版画は、若林の作品世界を紐解く貴重な作品として収蔵されている。

◇岡崎乾二郎は、80年代以降の若手作家を代表する一人であり、その初期の代表作「あかさかみつけ」は、非常に高く評価されている。

◇若松光一郎は、いわきを代表する作家の一人で、これまで系統的な収蔵を進めているが、今回収蔵された作品が加わることでさらに厚みを増したコレクションが形成されるものと思われる。

◇河口龍夫は、戦後の美術において重要な作家に位置付けされており、当美術館においても大規模な個展が開催されている。今回収蔵した作品は教育をテーマとする代表作のひとつに数えられる。